

この秋、香港映画に出会える5日間 香港特別行政区設立 25 周年記念映画祭 Making Waves – Navigators of Hong Kong Cinema 香港映画の新しい力

超メガヒット作出演女優から期待の新人監督まで続々来日予定！
さらに写真展「香港映画のナビゲーターたち」オンライン開催も決定！

平素よりお世話になっております。

今年 2022 年、香港特別行政区は設立 25 周年を迎えました。エキサイティングで活気あふれる国際都市・香港が迎えた大きな節目を記念し、日本未公開作品を含めた選りすぐりの香港映画8本を上映する、**香港特別行政区設立 25 周年記念映画祭「Making Waves – Navigators of Hong Kong Cinema 香港映画の新しい力」**を、**11月9日(水)～13日(日)**、**Bunkamura ル・シネマにて開催**します。

本映画祭は、イタリア・ウディーネ、インドネシア・バリ、イギリス・ロンドン、タイ・バンコク、オーストラリア・シドニー、デンマーク・コペンハーゲンなど、世界各地を巡回しており、この秋、東京にて待望の日本開催となります。

このたび、**本映画祭のオープニングを飾る『黄昏をぶっ殺せ』の上映前に行うオープニング・セレモニーをはじめ、各上映作品のゲスト情報が決定**しましたのでお知らせいたします。

ゲストは、上映前に舞台挨拶を行い、上映後に客席からの質問に答える Q&A にも登壇予定です(※なお、**新型コロナウイルスの感染状況および諸事情により、ゲストの来場は予告なく変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。**)

今年 2022 年春の大阪アジア映画祭で上映されるや大好評を博し、本映画祭のオープニングを飾る『黄昏をぶっ殺せ』(2021)からは、脚本(何静怡との共同脚本)およびプロデューサーを務めた俳優の**ラム・カートン**が来場し、本編上映前に行うオープニング・セレモニーに登壇予定。オープニング・セレモニーには、香港の4大映画会社が共同製作し、4人の新人監督が共同監督を務めた香港返還 25 周年記念作『**同じ空の下**』(2022)から、**ティム・ブーンとサニー・イツ**の監督二人と、香港電影發展局副主席であり映画監督(『宋家の三姉妹』)のメイベル・チャン、香港国際映画祭エグゼクティブ・ディレクターのアルバート・リー、そして香港特別行政区政府創意香港アシスタント・ディレクターであり香港電影發展局事務局長のゲイリー・マックも登壇予定。なお、ラム・カートンは主演を務めた『**リンポ**』(2021)上映時にも来場する予定です。

9月に香港で公開されるや大ヒット、コメディとして香港歴代興行収入第1位となる7,000万香港ドルを突破し現在も公開中の『**6人の食卓**』(2022)に出演し、キュートな魅力を振りまいて話題となっているマレーシア出身の女優**リン・ミンチェン**が初来日し、『6人の食卓』の上映に来場します。また、同じく出演した『**ワン セカンド チャンピオン**』(2021)の上映時にも来場し、『ワン セカンド チャンピオン』の監督・原作を手がけ出演もしている**チウ・シンハン**とともに舞台挨拶および Q&A に登壇する予定です。

■写真展「香港映画のナビゲーターたち」が 11 月 3 日(木)～11 月 13 日(日)の期間限定でオンライン開催決定！

香港出身の4人の写真家ジュピター・ウォン、ウォン・ワイロン、クイスト・ツァン、シャロン・サラダの仕事にスポットをあて、一挙紹介する貴重な写真展「香港映画のナビゲーターたち」。10月22日(土)～30日(日)に HIBIYA CENTRAL MARKET テントギャラリーで開催した写真展も好評を博し、11月5日(土)～11月13日(日)には Bunkamura 1 階エレベーターホールにて開催されますが、このたび **11月3日(木)～11月13日(日)の期間限定で、オンラインでの開催が急ぎょ決定**となりました。会場では展示されなかったものも含む全155点におよぶ貴重なスチルの数々がオンラインで楽しめる貴重な機会となりますので、是非ともアクセスしてください。

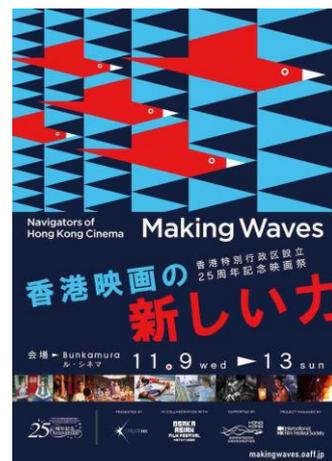
オンライン写真展「香港映画のナビゲーターたち」URL:

https://makingwaves.hkiff.org.hk/virtual_exhibition

※11月3日(木)0時よりサイトオープン

【写真展「香港映画のナビゲーターたち」とは】

過去 25 年間で 200 本近い香港映画のスチル撮影に携わった、香港出身の4人の写真家ジュピター・ウォン(木星)、ウォン・ワイロン(王偉倫)、クイスト・ツァン(曾覓)、シャロン・サラダ(李詩卉)の仕事にスポットをあて、一挙紹介する貴重な写真展。記憶に残る香港映画のシーンのスチルをあつめた、「映画再創作」、撮影現場での監督やスタッフたちの仕事に迫る「撮影現場の監督たち」、香港映画を彩るスターたちが登場する「アベニュー・オブ・スターズ」、4人の写真家の才能に迫る「無名英雄」などをテーマに構成。ドニー・イェン『**イップ・マン 序章**』(2008)、金城武『**捜査官X**』(2011)やアニタ・ムイ主演『**半生縁**』(1997)、『**少年の君**』(2019)など、新旧の傑作が並ぶ香港映画ファン必見の写真展です！



撮影:ウォン・ワイロン「インファナル・アフェア III 終極無間」(2003)
©Media Asia Film Company Limited.

■写真展「香港映画のナビゲーターたち」

開催期間:2022年11月5日(土)～13日(日)

会場:Bunkamura 1階エレベーターホール(東京・渋谷)

★映画祭上映作品の詳細は公式サイトまで <http://makingwaves.oaff.jp/>

香港特別行政区設立 25周年記念映画祭

「Making Waves - Navigators of Hong Kong Cinema 香港映画の新しい力」

2022年11月9日(水)～13日(日)

会場:Bunkamura ル・シネマ

※全て日本語字幕付き上映

■上映スケジュール

16:00～

19:00～

11月9日	水		<p>黄昏をぶっ殺せ & オープニング・セレモニー</p> <p>ゲスト(予定):ラム・カートン(『黄昏をぶっ殺せ』共同脚本・プロデューサー) ティム・ブーン、サニー・イツプ(『同じ空の下』監督) ゲイリー・マック(香港特別行政区政府創意香港 アシスタント・ディレクター、香港電影發展局事務局長) メイベル・チャン(香港電影發展局副主席、映画監督) アルバート・リー(香港国際映画祭エグゼクティブ・ディレクター)</p>
11月10日	木		<p>リンボ ゲスト(予定):ラム・カートン(主演)</p>
11月11日	金	<p>ワン セカンド チャンピオン ゲスト(予定):リン・ミンチェン(出演) チウ・シンハン(監督・原作・出演)</p>	<p>同じ空の下 ゲスト(予定):ティム・ブーン、サニー・イツプ(監督)</p>
11月12日	土	<p>チャイニーズ・ゴースト・ストーリー</p>	<p>サンシャイン・オブ・マイ・ライフ</p>
11月13日	日	<p>6人の食卓 ゲスト(予定):リン・ミンチェン(出演)</p>	<p>神探大戦</p>

◎チケット料金:800円均一(税込)

※チケットは日時・座席指定券です。 ※ご購入後の変更・払戻しは承れません。

※特別上映のため、学生・シニア等各種割引はございません。

◎購入方法:

オンライン MY Bunkamura

<https://www.bunkamura.co.jp/mybunkamura/>

※ご鑑賞日の3日前0:00から各回の上映1時間前まで販売。

※「MY Bunkamura」への事前登録(無料)が必要です。

劇場窓口

※ご鑑賞日の3日前から販売。(劇場窓口受付時間 10:00～20:00)

※オンライン販売で完売になった上映については劇場窓口での販売はありません。

お問合せ:大阪アジア映画祭事務局 makingwaves@oaff.jp TEL 06-4301-3092

主催:香港特別行政区政府 創意香港 / 共催:大阪アジア映画祭 / 協力:香港特別行政区政府 駐東京経済貿易代表部 /

企画・運営:香港国際映画祭 / 特別協力:Bunkamura

公式サイト: makingwaves.oaff.jp

公式 Twitter: @MakingWaves_HKC / 公式 Facebook: MakingWavesHKC

2022年11月9日(水)～13日(日)、Bunkamura ル・シネマにて開催!